

整形外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 尺骨突き上げ症候群に対する尺骨短縮術及び鏡視下デブリードマン（関節鏡による滑膜切除）の5年以上の臨床成績とそれに影響を与える因子の検討

[研究機関] 北海道大学病院整形外科

[研究責任者] 岩崎 倫政（医学研究科整形外科学分野・教授）

[研究の目的]

尺骨突き上げ症候群に対する尺骨短縮術及び鏡視下デブリードマン（関節鏡による滑膜切除）の効果を調査し、その成績を左右する因子を検討すること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

尺骨突き上げ症候群の患者さんで、1990年1月1日から2008年7月31日の間に橈骨骨切り手術を受けた方。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（握力、関節可動域、画像検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院整形外科 担当医師 佃 幸憲

電話 011-706-5937 FAX 011-706-6054